

県人会の概要

(作成年月日： 2017年 10月 6日)

県人会名	北加福島日系人会
設立年月日	昭和35年(1960年)10月
会員数	約70名 (2017年10月6日 現在)
会 長	ワペンスキー英子
役 員	副会長 熊谷真知子 書記 遠藤幸子 会計 星 きみえ
連絡先	電 話：(650)873-4341 F A X： E - m a i l：spilot@sbcglobal.net
主な活動状況	<p>2007 米国非営利自然保護団体 (ARC) が会津からの日本初農業移民団「若松コロニー」跡地を保存する運動をされていて北加福島日系人会和会員から寄付を募り協力。</p> <p>2011 東日本大震災で甚大な被害にあった福島県に北加福島日系人会和会員、友人から寄付を集め北加日本文化コミュニティーセンター(JCCNC)を通し福島県災害対策本部に送金。 その後も2回ほど寄付を集め、ハワイ福島県人会からNPO法人UNITED JAPAN SOCIETY OF HAWAII(UJSH)を通し福島県に送金。</p> <p>2012 北加福島日系人会の新年会で寄付を募り「福島の子供を救う会」に送金。</p> <p>2013 「若松コロニー」跡地で開催された(おけいりまつり)に3人の学生(一人は会津短期大学、もう二人は岡山県)がARCのメンバーから個人的に招待され「おけいさんと震災を語る」でスピーチ。北加福島日系人会も協力。</p> <p>2014 NGO国際大使婦人機関で主催した「福島キッズカリフォルニア」にいわき高校から男女2名が招待された。 北加福島日系人会和会員からNGOに寄付したり協力。</p> <p>2015 「福島キッズカリフォルニア」で福島から10名の高校生が招待された。(男子3人、女性7人)北加福島日系人会、会員も寄付したり協力。</p>

	<p>2015 SF 日本町で開催された（桜祭り）のイベントで福島県側から2011年に発生した東日本大震災の福島県についての知識調査を依頼され北加福島日系人会で協力。</p> <p>2015 SF 日本国総領事公邸で行われた天皇誕生日に北加福島日系人会は2011年東日本大震災で（原発、地震、津波など）の被害を受けた福島県PRのパフレットを招待客に配布。 風評被害の払拭のため福島産の物は全て検査されたものを市場に出しているの安心安全であると説明。</p> <p>2012年から現在に至るまで NGO 国際大使婦人機関のイベントでクラフトの販売と風評被害払拭のため福島の安心安全をPR。 また若い会員は飯館まで「カーネーションの会」が作成したクラフトをイベントなどで販売している。</p>
	<p>以前は年に数回親睦会を開き会員との交流をしてきたが、近年は新年会のみとなってきている。中間地点のサンマテオ周辺に集うにも、片道約1時間はかかる。高齢化も進み亡くなったり、運転が出来なくなったり、連絡も就かなくなってきた。</p> <p>2011年の東日本大震災後は両親や祖父母のふるさと福島を応援しようと親睦会に出席したことの無い2世、3世から動きが出たことは喜ばしいことであった。</p> <p>会員各自がイベント情報を張り巡らせ福島県風評被害払拭のため福島産の物は検査され市場に出ているの安心安全であると伝えている。</p> <p>*今年3月初旬NHKの「あさイチ」と言う番組で福島産のお米の全袋検査がされていると放映されていました。ゲストを含めた中には知らない方もいて。会津出身の柳沢秀夫NHK解説委員のかたは、これは我々マスコミの問題だと話していました。</p> <p>ワールド福島県人会は2013年（野菜などの検査）2014年（お米の検査、水産試験場での水産物検査の説明）と視察しました。それからすでに3、4年も経過しているにもかかわらず日本国内では今だに福島産に対し不安を感じている人が多いので福島県以外のマスコミ（主にテレビ局）は福島産の検査映像をもっと流し、今以上に食の安心安全を伝えてほしい、</p> <p>海外でもワールド福島県人会がふるさと福島の風評被害払拭の為その役目を果たして行かなければなりません。</p>

Hokka Fukushima Nikkeijin Kai - Shinnenkai New Years Party
February 12, 2017

